

教員養成の質の向上に係る取組

■大阪樟蔭女子大学教職支援センターの取り組み

教職支援センターは、本学学校教育に関する免許・資格課程を履修する学生の支援を行うことを目的に、2019年4月に設立されました。教職支援センターでは、教育実習及び介護等体験に関する支援、教員採用試験受験者に対する指導及び各種対策講座の企画・実施、学校現場における教育インターンシップ及びボランティアの企画・実施などを行い、学生の皆さんの教職の夢を実現するため、経験豊かなスタッフが様々なサポートを行います。

(教職支援センターの主な取り組み)

- ①教職課程等履修者の支援
- ②教職課程等の企画及び運営
- ③地域との連携

具体的には、「教職実践演習」の効果的な教育内容の改善の取り組みや、教職に関する科目の授業の中で教育現場の実践者の招聘、授業に現場の見学・体験をできるだけ取り込む等、実践的な教育の開発に取り組んでいます。

また、採用試験合格に向けた継続的なトレーニングのため、本学専任教員及び教職アドバイザーによる各種実践講座の開講、外部教育機関と連携した「教員採用試験対策講座」の開発・運営、自治体別の面接対策指導や論作文指導などの取り組みを実施しています。

■学校現場での教育支援ボランティア

くすのき地域協創センターでは、教育委員会と連携し、幼稚園での保育補助及び活動の支援、小学校・中学校での授業補助などのボランティアについて、学生に最新情報を配信し、定期的な学生カンファレンスの実施、活動レポートの提出など、総合的に学生の活動をサポートしています。